平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場会社名　萩原電気株式会社　　上場取引所　大
コード番号　7467　URL　http://www.hagiwara.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 岩井　三津雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 福嶋　洋二　TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	53,968	21.6	945	△10.5	896	△12.0	456	△18.6
23年3月期第3四半期	44,391	8.3	1,056	199.8	1,018	226.4	560	284.6

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　397百万円　(△22.7%)　23年3月期第3四半期　514百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	68.15	―
23年3月期第3四半期	83.76	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	37,046	16,821	45.4
23年3月期	36,198	16,618	45.9

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　16,821百万円　23年3月期　16,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	13.00	―	15.00	28.00
24年3月期	―	14.00	―		
24年3月期(予想)				14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	18.9	1,450	△1.1	1,400	△2.5	750	1.6	112.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	6,908,000 株	23年3月期	6,908,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	212,278 株	23年3月期	212,207 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	6,695,763 株	23年3月期3Q	6,695,829 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による急激な落ち込みから持ち直しの動きを続けてきたものの、10月以降、海外経済の減速や円高の進行などを背景に不透明感を増しつつ推移してまいりました。

当社グループと関わりの深い自動車業界においても、東日本大震災によって陥っていた部品不足の解消が前倒しで進行し車両生産の正常化が一旦は図られたものの、タイの洪水被害による生産活動への影響など、先行き不透明な状況となりました。

当社グループにおきましても、第１四半期まではお客様の減産の影響を受けて需要が減少したものの、７月以降需要に改善の動きが出てきましたが、先行きの不透明感から力強さに欠けた状況で推移してまいりました。この様な環境のなか、当社グループは商材の確保に努め売上高の拡大を図るとともに、継続的なコスト削減を推進し、収益の改善に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、仕入先の統合による商権拡大も寄与し539億68百万円（前年同四半期比21.6%増）となりました。しかしながら利益面においては商権拡大に伴う各種費用の増加もあり、営業利益は９億45百万円（前年同四半期比10.5%減）、経常利益は８億96百万円（前年同四半期比12.0%減）、四半期純利益は４億56百万円（前年同四半期比18.6%減）となるなど、増収減益の結果となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

（デバイスビジネスユニット事業）

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを主力に、マイクロプロセッサー、システムＬＳＩ、アナログ・パワー半導体、コンデンサ、リレー、コネクタ等の販売ビジネス、システムＬＳＩ設計、ソフトウェア開発等の技術サポートビジネスを展開しております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、自動車の生産台数が回復したことにより車載用ＭＰＵ（マイクロプロセッサー）を中心に集積回路・半導体において需要が伸張したほか、新規商材の需要の確保や仕入先の統合による商権拡大に伴う売上増加もあり、デバイスビジネスユニット事業の連結売上高は456億62百万円（前年同四半期比26.1%増）、営業利益は13億53百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

（ソリューションビジネスユニット事業）

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、お客様に対し、自社製品を含めたＩＴ機器の提供やアプリケーション開発をはじめとする課題解決型ソリューション提供ビジネス、計測分野やＩＴプラットフォーム基盤構築分野におけるソリューション提供ビジネス、お客様製品に組み込まれる電子機器の販売ビジネス、電子・情報プロダクツの開発・製造ビジネスを展開しております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、東日本大震災の影響や景気の先行き不透明感から不要不急の投資には抑制傾向が見られたものの、更新の必要な設備投資・情報化投資のニーズに合わせ、ＦＡ・計測分野やＩＴプラットフォーム基盤構築分野での積極的なソリューション提案営業を展開し一定の需要を確保したことにより、ソリューションビジネスユニット事業の連結売上高は83億６百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益は２億86百万円（前年同四半期比11.7%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

資産合計は、前連結会計年度末に比べて８億47百万円増加し370億46百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12億79百万円増加し323億26百万円となりました。これは主に、現金及び預金が９億21百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が７億96百万円および商品及び製品が14億40百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて４億31百万円減少し47億20百万円となりました。これは主に、無形固定資産が１億１百万円および投資その他の資産が３億４百万円減少したことによるものであります。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べて６億44百万円増加し202億24百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて６億６百万円減少し171億29百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が１億５百万円および短期借入金が５億25百万円増加しましたが、１年内返済予定の長期借入金が８億50百万円および未払法人税等が４億16百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12億50百万円増加し30億95百万円となりました。これは主に、長期借入金が12億75百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて２億３百万円増加し168億21百万円となりました。

この結果、自己資本比率は45.4％（前連結会計年度末は45.9％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済につきましては、円高の長期化や個人消費の鈍化、海外景気の一層の悪化などの下振れリスクを抱え、より不透明感を強めながら推移するものと思われます。

当社グループといたしましては、売上高の伸張や経費抑制のための各種施策をグループ一体となって推進し、企業体質の強化と業績の向上に努めてまいります。

このような状況のもと当社グループの平成24年３月期の業績予想は次のとおりであります。

なお、平成23年10月11日に発表しました業績予想からの変更はしておりません。

連結売上高	750億00百万円	（前期比 18.9％増）
連結営業利益	14億50百万円	（前期比 1.1％減）
連結経常利益	14億00百万円	（前期比 2.5％減）
連結当期純利益	７億50百万円	（前期比 1.6％増）

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間から、萩原電気韓国株式会社を新たに設立したことにより、連結の範囲に含めております。また、第２四半期連結会計期間から、萩原貿易（上海）有限公司を新たに設立したことにより、連結の範囲に含めております。

なお、いずれも特定子会社には該当しません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,841	1,919
受取手形及び売掛金	19,184	19,980
有価証券	―	100
商品及び製品	8,072	9,513
仕掛品	344	296
原材料及び貯蔵品	124	152
その他	480	364
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	31,046	32,326
固定資産		
有形固定資産	2,554	2,527
無形固定資産	736	635
投資その他の資産		
その他	1,872	1,568
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,861	1,556
固定資産合計	5,151	4,720
資産合計	36,198	37,046
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,214	10,319
短期借入金	3,800	4,325
1年内返済予定の長期借入金	2,450	1,599
未払法人税等	444	27
その他	827	857
流動負債合計	17,736	17,129
固定負債		
長期借入金	1,075	2,350
退職給付引当金	420	385
役員退職慰労引当金	299	317
その他	49	41
固定負債合計	1,844	3,095
負債合計	19,580	20,224

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,439	2,439
資本剰余金	2,884	2,884
利益剰余金	11,561	11,823
自己株式	△209	△209
株主資本合計	16,675	16,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	48
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△127	△164
その他の包括利益累計額合計	△56	△115
純資産合計	16,618	16,821
負債純資産合計	36,198	37,046

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	44,391	53,968
売上原価	40,133	49,087
売上総利益	4,257	4,880
販売費及び一般管理費	3,201	3,934
営業利益	1,056	945
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	9	10
受取報奨金	11	11
その他	14	22
営業外収益合計	39	46
営業外費用		
支払利息	50	46
複合金融商品評価損	－	23
その他	27	25
営業外費用合計	77	96
経常利益	1,018	896
特別利益		
固定資産売却益	－	0
投資有価証券売却益	－	6
貸倒引当金戻入額	2	－
過年度損益修正益	8	－
特別利益合計	10	6
特別損失		
固定資産処分損	5	6
投資有価証券評価損	0	6
会員権評価損	－	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	－
特別損失合計	8	15
税金等調整前四半期純利益	1,020	887
法人税等	459	430
少数株主損益調整前四半期純利益	560	456
四半期純利益	560	456

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	560	456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△21
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△36	△37
その他の包括利益合計	△46	△58
四半期包括利益	514	397
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	514	397
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	デバイスビジネスユニット事業	ソリューションビジネスユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,204	8,186	44,391	―	44,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	42	0	42	△42	―
計	36,247	8,186	44,433	△42	44,391
セグメント利益	1,480	256	1,736	△680	1,056

（注）１　セグメント利益の△680は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	デバイスビジネスユニット事業	ソリューションビジネスユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	45,662	8,306	53,968	―	53,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	62	8	70	△70	―
計	45,724	8,314	54,038	△70	53,968
セグメント利益	1,353	286	1,639	△694	945

（注）１　セグメント利益の△694は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。